

平成25年度最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動の選定結果について

平成25年8月22日

最先端研究開発支援プログラム担当室

1. 8月22日に開催した最先端研究開発支援推進会議において、平成25年度最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動及び助成額を別紙の通り、決定した。

平成25年度 最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動及び助成額

別紙

2013年8月22日
最先端研究開発支援推進会議

1. 一般シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	助成額
株式会社 博報堂	FIRST EXPO(仮称)	30名全員	専門性の高さにより、一般的なメディア上でのパブリシティになりにくい先端研究を伝わりやすくするとともに、総括事業としての「面」での展開と、様々なマッチングを生み出すため、単発シンポジウムではなく、統合したEXPO形式で実施する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成26年3月31日まで	112,232千円
株式会社 日経BPコンサルティング	FIRST研究成果ビジネスマッチングシンポジウム —先端研究の実用化と産業応用の道を開く(仮称)	30名全員	FIRSTの研究成果報告を行うとともに、それをいかに新しい社会価値や産業の創出につなげるかについて議論する。アカデミアの研究リーダーのみならず、産業界から多くのビジネスリーダーを集客し、知の交流により、事業革新や事業創出のアイデアを発見してもらう機会とする。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成26年3月31日まで	30,329千円

2. 国際シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	助成額
独立行政法人 理化学研究所	FIRST国際シンポジウム トポロジカル量子技術 FIRST International Symposium on "Topological Quantum Technology"	十倉 好紀 山本 喜久 外村 彰 (長我部 信行)	本プロジェクトにおいて、量子物理学のトポロジ的性質を探索してきた3者が合同の国際シンポジウムを企画し、プロジェクトの成果のまとめ及び今後の展望を統一的な観点から行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成26年3月31日まで	21,951千円
株式会社 早稲田総研イニシアティブ	FIRSTシンポジウム —2030年へのメッセージ(仮称)	(山中 伸弥・細野 秀雄 または 岡野 栄之・岡野 光夫) 及び 村山 斉	「科学技術が拓く2030年」を切り口として、エネルギーと高齢化の2つのテーマに対して、FIRST、NEXT研究者らがバックキャスト的に議論・ポスター展示等により交流し、今後の科学技術政策等につなげる。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成26年3月31日まで	10,241千円
株式会社 コンベンションリンケージ	FIRST北大・東大合同国際シンポジウム「次世代の診断・治療法の普及によるがん治癒率の向上を目指して」	片岡 一則 白土 博樹	2つの研究課題のこれまでの研究成果を公開し、関連する知識の交換を図ることで、今後の研究の発展を目指すとともに、研究と社会の循環、国際競争力のある新産業の創出といった共通の課題について、専門家・産業界・行政のエキスパートを交えて議論を行い、持続的な発展を目指す方策の提言を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成26年3月31日まで	19,829千円